



## 「ありがとうが言える子」「最後までがんばれる子」



校長 川井田 忠之

春の日差しがやわらかく降りそそぎ、校庭の桜が見頃を迎える中、令和8年度の教育活動が始まりました。子どもたちの元気な声が校舎内に響き渡り、新しい1年のスタートを実感しています。子どもたちの「できた!」「わかった!」「うれしい!」「楽しい!」があふれる1年となるよう、教職員一同、力を合わせて取り組んでまいります。



### 『ありがとうが言える子』になってほしい

「もう言ってるよ、校長先生!!」という子もいるかもしれませんが、さらに言える子になってほしいと思います。ありがとうは、何回言われても嬉しい言葉です。心の中で『ありがとう』と思ったときには、自信をもって相手に伝えられる子になってほしいと思います。



### 『最後までがんばれる子』になってほしい

最後までやりきることは、時にはむずかしいこともあります。できない日があっても大丈夫です。それでも「もう少しがんばってみよう!!」と続けてみる気持ちを大切にしてほしいと思います。

この2つは、1学期の始業式で子どもたちに話した内容です。

私事ですが、3月までの3年間、新潟県庁16階で勤務していました。多くの職員はエレベーターを利用していましたが、少しでも運動不足解消になればと、出勤時と昼休み後に11階から16階まで階段で上ることを2年半続けました。計算してみると、1か月で4,400段、2年半(30か月)で132,000段になります。「これはどれくらいの高さなのだろう?」と興味をわき調べてみると、富士山約6.3個分、エベレスト約2.7個分に相当することが分かりました。もちろん、できない日もありましたが、最後まで続けたことで、私自身「やればできる」という自信をもつことができました。自信は成功への秘訣です。子どもたちにもこの一年で「がんばったぞ」という自信をもてる経験を積んでほしいと願っています。

今年度も、保護者・地域の皆様には、学校運営においてお力添えをいただく場面が多くあるかと思えます。引き続きのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

